

レポーター募集!

分科会①

休校中の学習権保障
～ICTを活用した授業と
その後～

一斉休校に伴い、にわかにはオンラインでの授業やHR活動が求められました。対応できた学校、そうでない学校、生徒、教員。試行錯誤した実践とこれからのあり方について検討します。

分科会②

「上から」のコミュニティ・スクールになってませんか?

「CS」と「地域連携」はどちらがう?教員や生徒の主体性は存在している?地域に根ざした教育とは?CSのあり方を問い直します。

分科会③

支援の必要な生徒の対応

「支援」の必要な子どもは、支援学校に通う生徒だけではありません。普通高校の中でも増える、様々な生きづらさを抱える生徒や保護者にどう対応するか。現場の実践をもとに考えます。

分科会④

原発事故から10年
～核と平和を考える～

3.11から10年。昨年は核兵器禁止条約が発効しました。節目となる年に、改めて核と平和について、どう伝えるか。現場を訪れたレポート報告も交えて考えます。

コロナ禍の中で 考えたこと

～これからの教育、
学校で大切にしたいこと～

高教組教育講座

2021.1.16(土) 10:00~16:00

山口県教育会館大ホール

全体会 10:00~ 分科会 13:00~



講演 鈴木大裕さん

全体会 10:00~12:00

1973年、千葉県出身。教育研究者。土佐町議会議員。元中学校教員。99年スタンフォード大学大学院修了。16歳で米国に留学。修士号取得後に帰国、公立中学で6年間教諭を務める。後にフルブライト奨学生としてニューヨークの大学院博士課程へ。2016年にNYから高知県土佐町に家族で移住。教育をとおした町おこしに取り組みつつ、執筆・講演活動をしている。著書に「崩壊するアメリカの公教育：日本への警告」（岩波書店）